

2010年春 釧路町昆布森沿岸におけるサケ幼稚魚生息環境速報(第3報)

水産総合研究センターさけますセンター帯広事業所

2010年6月23日、北海道釧路町昆布森沿岸において、水温、プランクトン湿重量及びサケ稚魚の出現状況を調査しましたので概要をお知らせします。



観測場所：釧路町昆布森地先
緯度：42°56'N
経度：144°34'E
水深：20m

今期の特徴

海水温は、10.09 であり前年と比較して0.5 高く、過去10ヵ年と比較して1.1 高い値を示した。

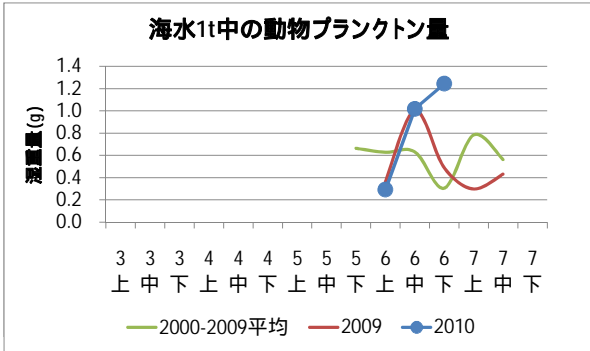
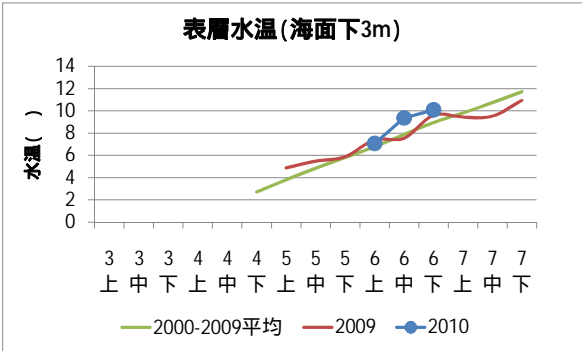
海水1t中の動物プランクトン量は1244mgであり、前年、および過去10ヵ年と比較して非常に多かった。また、最も岸よりの定点(離岸距離0.4km)を除く、全ての定点で珪藻が混入した。

稚魚採捕尾数は15尾であり、前年、および過去10ヵ年と比較して非常に少ないものの、前回と同様に全ての定点でサケ稚魚が採捕された。沖合の定点ほど採捕された稚魚の魚体が大型であった。漁業者の話では、トキシラスの漁獲尾数は少なくなったとのことであった。

2010年6月23日の調査結果

表層水温は	10.09
・前年に比べ	若干高い
・過去10ヵ年平均に比べ	高い

プランクトン湿重量は	1244.31 mg
・前年に比べ	非常に多い
・過去10ヵ年平均に比べ	非常に多い



サケ稚魚採捕数は	15尾
・前年に比べ	非常に少ない
・過去10ヵ年平均に比べ	非常に少ない

